

平成28年度 事務事業評価表〈平成29年度 評価実施〉

千歳市

◎基本情報

				事業番号	605201	
事業名	緑化推進事業			事業期間	不明～終期なし	
				事業の種類	自主事業	
第6期総合計画への位置付け	まちづくりの基本目標		展開方針		施策	
	都市機能が充実したまち		緑地の保全及び緑化の推進		参加と協働による緑化の推進	
実施根拠	実施の根拠法令・条例等の名称	条例	千歳市緑化条例			
事業担当	建設部都市整備課公園管理係		連絡先	e-mail	toshiseibi@city.chitose.lg.jp	
				電話番号	(総合代表) 0123-24-3131	内線
評価者	都市整備課長 田中 睦実		(直通番号) 0123-24-0697			

◎事業概要(PLAN)

事業目的	<対象> 誰(何)を対象にしているか	市民	細事業 ちとせ環境と緑の財団運営費交付事業 千歳市緑化推進委員会事業 保全樹林・樹木維持管理 緑化推進団体業務 緑化行事調査業務
	<意図> 対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	緑化思想の普及・啓発および緑化推進事業の発展振興	
事業内容	樹林、水辺、公園、街路樹、庭木、花壇など市内には様々な緑があり、これらの緑は、街の環境衛生、景観、防災、健康増進を高めるなど多くの役割をもち、市民が快適な生活をおくる上で欠かせないものとなっている。このことから、市民に緑化思想の普及・啓発を図るため、千歳市緑の基本計画に基づき、緑を守る、育てる、親しむ、ふれあう事業などを(公財)ちとせ環境と緑の財団と連携して進めている。		

◎実施結果(DO)

平成29年度は見込値

指標名				平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	
活動指標	↓ 活動単位当たりのコスト算出指標(1つ選択)								
	○	1	(公財)ちとせ環境と緑の財団運営費交付金額	実績	29,635	31,501	31,699	34,309	千円
		2	募金額(千歳市緑化推進委員会)	実績	531	441	440	470	千円
		3	緑化推進団体数	実績	11	11	10	10	団体
成果指標	○	本来の指標	市民の緑化思想の普及度	目標	24	24	24	24	回
		代替指標	緑化振興事業の実施回数	実績	24	24	24		
		計算式	指標の説明						
			目標達成率(実績/目標)			100.0	100.0	100.0	%

予算事業名称	コスト分析			平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位
緑化推進事業費	事業費 予算	(A)		31,534	32,480	32,630	35,052	千円
	事業費 決算 (C+D+E)	(B)		29,635	30,419	31,471		
	財源内訳	国道支出金	(C)	0	0	0		
		その他	(D)	0	0	0		
		一般財源	(E)	29,635	30,419	31,471		
	人件費	(F)		4,137	4,193	3,543		
	職員数(関与割合)	(G)		0.57	0.57	0.65		人
	総事業費	(B+F)	(H)	33,772	34,612	35,014		千円
	人件費率	(F/H)	(I)	12.2	12.1	10.1		%
	活動単位当たりのコスト (H/活動実績)	(J)		1.1	1.1	1.1		千円

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の必要性	市民ニーズの動向	I 社会情勢の変化により、市民ニーズが増加傾向にあるもの II 市民ニーズの動向や利用者の需要に大きな変化がないもの III 社会情勢の変化により、市民ニーズが減少傾向にあるもの IV 市内部組織を対象とするなど、市民ニーズとは直接関連しないもの	II
	事務事業の性質	I 市が保障する市民生活の最低水準に関わる事業 II 市民の生命・財産・権利を守るために必要な事業 III 市民生活を豊かにするために実施する特色ある事業 IV 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの	III
市の関与の妥当性	事務事業の実施主体	I 法令等の定めにより、市が実施主体となる事業 II 法令等の定めはないが、公共性や公益性の観点から市が実施主体となる事業 III 企業や市民団体等が実施主体となり、市が補完的な役割を行う事業 IV 企業や市民団体等による実施が妥当な事業	III
	対象者の範囲	I 大多数の市民に提供され、市民生活に必要不可欠なもの II 大多数の市民に提供されるが、選択可能なもの III 特定の個人又は集団に提供され、市民生活に必要不可欠なもの IV 特定の個人又は集団に提供されるが、選択可能なもの V 市内部組織を対象とするなど、市民生活とは直接関連しないもの	II
経済性	実施方法の変更などにより事業費の削減が図られているか(総事業費)	A 事業費は削減傾向にある B 事業費に大きな変動はない C 事業費は増加傾向にある D 当年度からの新規事業	B
効率性	作業手順の見直しにより、業務改善が図られているか(活動単位当たりのコスト)	A コストは削減傾向にある B コストに大きな変動はない C コストは増加傾向にある D 当年度からの新規事業	B
有効性	事業目的を達成できているか(目標達成率)	A 95%以上達成できている B 70から95%達成できている C 70%未満の達成率である D 目標達成率が算出できない	A
C評点の場合、その理由・原因			
手段の妥当性	事業目的を達成するために実施している細事業について、類似事業はないか	A 類似事業はない又は人件費事業である B 類似事業を含むが、統合・移管するには十分検証する必要がある C 類似事業を含み、部分的に統合・移管が可能である D 統合・移管すべき事業を含む	B
前年の二次評価コメント		改善内容 →	

◎今後の方向性(ACTION)

総合評価現状と課題	緑化振興事業は、多くの市民の方々の参加をいただきながら事業展開を行っており、潤いある街づくりに欠かせないものである。今後、町内会等の高齢化により参加人数が減少することが考えられることから、限られた予算の中で効果的に広報活動を行っていく必要がある。			
今後の方向性	1. 現状のまま継続 —1. 拡大	2. 見直して継続 —2. 縮小	3. 休止・廃止 —3. 手段の見直し	4. 終了・完了 —4. その他(統合・移管等)
	1			
↓「現状のまま継続」の場合は、本事業により得られる事業効果を以下の欄に記入してください。				
事業効果	市民が快適な生活を送る上で欠かすことのできない緑豊かな潤いのある生活環境の提供。			
↓「見直して継続」「休止・廃止」の場合は以下の欄に記入してください。				
今後の改善案等	実施予定時期	改善の対象となる項目(細事業等)		
	・どのように改善するのか ・改善する理由は何か ・休止・廃止する理由は何か			

◎二次評価

今後の方向性	1. 現状のまま継続 —1. 拡大	2. 見直して継続 —2. 縮小	3. 休止・廃止 —3. 手段の見直し	4. 終了・完了 —4. その他(統合・移管等)
二次評価コメント	※この欄は、評価委員会による二次評価欄なので、担当課では記載しないでください。			

◎関連

実施計画	
重点施策	
市長公約	